

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
69	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳)	
Serum cholesterol, haemorrhagic stroke, ischaemic stroke, and myocardial infarction: Korean national health system prospective cohort study. 血清コレステロールと脳出血、脳梗塞、心筋梗塞: Korean National health system prospective cohort study	
執筆者	
Shah Ebrahim, Joochon Sung, Yun-Mi Song, Robert L Ferrer, Debbie A Lawlor and George Davey Smith	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
BMJ 2006; 333:22	
キーワード	
韓国、多量飲酒、血清コレステロール、脳出血、脳梗塞、心筋梗塞	
要旨	
(目的) 多量飲酒が低コレステロールと関連して脳出血の危険性を増加させているか検討する。	
(方法) 韓国の30歳から64歳の787442人(男性661700人、女性125742人)の公務員を対象に15年間、前向きコホート研究を行った。循環器疾患の危険因子は1986年又は1990年の隔年ごとの健康診断時に評価。発症と死亡データは1990年-2001年の入院歴や死亡調査より集めた。	
(結果) 脳梗塞6328例(男性6021例、女性307例)、脳出血3947例(男性3748例、女性199例)、不詳脳卒中3170例(男性2902例、女性268例)、心筋梗塞4417例(男性4305例、女性1102例)発症が観察された。脳梗塞と心筋梗塞は血清コレステロールと強い正の関連を認めた(脳梗塞:コレステロール1mmol/L上昇あたりのハザード比(HR)=1.2,95%CI:1.16-1.24;心筋梗塞:HR=1.48,95%CI:1.43-1.53)。脳出血は血清コレステロールと負の関連を示した(HR=0.91,95%CI:0.87-0.95)が、この関連は高血圧者に限定的であった。アルコール飲酒量を示す $\gamma$ GTPにて層別化すると、 $\gamma$ GTP低値群では高血圧患者において脳出血は血清コレステロールと負の相関を認めなかったが、 $\gamma$ GTP高値群(80IU以上)では高血圧と独立して、関連を認めた。	
(結論) 低コレステロール者で脳出血が多いという関連に多量飲酒が影響を与えている可能性が示唆された。	